



特定非営利活動法人

東京学芸大こども未来研究所

Tokyo Gakugei Univ. Children Institute for the Future

TECH未来通信

2021.NOV
VOL.045



〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学内20周年記念飯島同窓会館1階
042-316-6645 ✉info@techmirai.jp

TECH未来を使ってきた先生方(その28)

大阪府でのTECH未来

今回は、大阪教育大学理数情報教育系技術教育部門特任准教授吉岡利浩(よしおかとしひろ)先生にお話を伺いました。



吉岡先生は、現在、大阪教育大学技術教育コースの学生に向けてTECH未来を使用して授業を実践してくださっています!そんな吉岡先生にインタビューしてきました。

ー現在、教員何年目ですか?

大阪教育大学に来て2年目になります。(コロナ禍により大学での最初の講義は、はじめてのオンライン授業で始まりました。)大学に来る前は、34年間中学校技術科教員をしていました。

ーTECH未来を使用して何年目ですか?

TECH未来は、中学校教員のころから存じておりました。当時は、このような教材は魅力的でしたが限られた予算の関係で授業での使用はできませんでした。

使用は、昨年大学にきて初めて使わせていただきました。

ーTECH未来を使ってみて、学生の反応はいかがですか?

このような教材を体験することで、学生が、自分たちの研究や技術科の授業を考える上でとても良い刺激と学びの時間になっています。今回受講した学生の感想をいくつか紹介します。

「パーツの種類や拡張性があり、簡単に模型を製作することができ、工夫を凝らして、複雑なものも実現できそうなものだなと思いました。自分が体験する範囲が広がることで、また自分が教師とし

て授業を考えることで、視点の広がりや新たな気づきが発見できると日々痛感します。」

「TECH未来の教材は工夫されていて使いやすいと感じた。どのギヤを組み合わせるかで出せるパワーも変わってくるというのが分かりやすかった。マイクロビットの教材は、未来シリーズというメイクコードのブロックが予め作られており、このブロックの中でモータやセンサーの制御など全て揃っていたので、これまで必要なものがある度にブロックを追加していた手間を思い出すと非常に簡単で分かりやすいものであった。今後これらで教材を作る際には是非活用したいと思った。」

ー今後TECH未来でどんなことをしてみたいですか?

TECH未来を用いて技術科の授業デザインを作成し、学校現場に出る前の最後になる模擬授業を行う予定です。

ー最後に一言!

「ものづくりは人づくり」「夢を形に」をキャッチフレーズに、中学校の技術科を中心にした教育の実践研究を行っています。下記、ご覧いただければ幸いです。

「教育界へ言い残しておきたいことーロボコンの教育的本質を明かすー」

東京工業大学名誉教授 森 政弘先生

<https://gijyutu.com/main/archives/2037>

森政弘先生の講演でお聞きした「教育改革は技術科から」という言葉が今でも響いています。

森先生はじめ、たくさんの素敵な先生方から技術科教育の魅力を学ばせていただいております。



編集後記

学生さんが教員になった際には、TECH未来を選んでくれたら嬉しいです!ありがとうございました!